



■ 「子どもたちから見た岩小のよさ」

- ① 「生活の3本柱」がしっかりできる
- ② スマイル（笑顔があふれる学校）
- ③ 学年を越えてなかよし・やさしい
- ④ みんな明るくて元気
- ⑤ 児童会活動
- ⑥ 学校目標「ひとりになれる ひとつになれる」



< 学校教育目標 >

ひとりになれる ひとつになれる

※ 「ひとりになれる ひとつになれる」の具体の姿
10年後の子どもたちに必要な力く挑む、わたし！、夢中、らしく、誰とでも>と捉え、その実現を目指す。

■ 「R3学校評価」「R3全国学調質問紙」から

- 授業中、友だちの話を最後までよく聞く
- 自分の考えや根拠を書いたり表現したりする
- △ 「自分にはよいところがある」自己有用感
- △ 総合的な学習の時間で課題をもって調べる
- △ 授業の終わりの振り返り

■ 10年後の子どもたちに必要な力 ■

いどむ

失敗を恐れず、あきらめずにチャレンジ

わたし！

自分の考えをもち、自ら判断し自ら行動

むちゅう

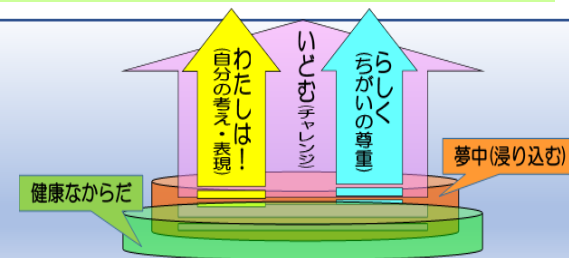
とことん考え、とことん浸り込む

らしく

自分の夢をもち、自分のよさを大切に

だれとでも

自分とは違う他者を認め、協働できる



重点1：子どもの主体性が育つ学習

取組①：「自分の考えをもつ」授業 ㊦ ㊧

- ・自分らしく、自分の言葉で語る習慣づくり
- ・考えを整理、練り上げ、表現する「書く活動」
- ・指示やジャッジを子どもの手に委ねる大人
- ・ICT 機器活用による自分らしさの伸長

取組②：教科の本質に迫る深い学びの実現 ㊦

- ・日常生活や教科の見方考え方とつなぐ振り返り
- ・「生きて働く」知識・技能への転換
- ・教科の楽しさ・喜びにつなげる深みのある授業

取組③：学級の宝「楓の時間」の充実 ㊨ ㊩

- ・子どもの願いや問いから始まる生活科総合学習
- ・新設「楓の日」を活用したダイナミックな学び

重点2：ちがいに寛容な心が育つ教室

取組① ちがいに学び合う教室 ㊧ ㊨

- ・クラスの中の自分とちがう人・考え・やり方を知り、認め合い、ちがいから学び合う学級経営
- ・「わからない・教えて」が言え、聞き合える教室
- ・異年齢の中で芽生える自立・愛情・信頼・憧れ
- ・特別支援教育に関する校内研修の充実

取組② 複数教員による授業づくり ㊨ ㊩ ㊪

- ・「担任交代制」…教師の専門性や指導の違いから子らの興味関心広げ、多面的な子ども理解促進

取組③ 多様な大人と学ぶ場づくり ㊩ ㊪

- ・岩村田を愛する大人に学ぶ「岩村田学」
- ・「まちゼミ」を発展させたキャリア教育構築

重点3：誠実さと笑顔を育む伝統の継承

取組① 生活の3重点「あいさつ」 ㊦ ㊧ ㊨

取組② 生活の3重点「靴そろえ」

取組③ 生活の3重点「清掃無言」

- ・ルール・慣習からでない、意味の問い直し「なぜあいさつ、くつ揃え、清掃無言」？「清掃に集中することで無言になる」とは？
- ・やり甲斐が感じられる環境づくりや評価
- ・なかよし学級の友だちから学び合い育ち合う

取組④ 子どもたちが創る児童会活動・学校行事 ㊫

- ・児童会スローガンを核にした諸活動の充実
- ・「どんな〇〇を創りたいか、したいか」子どもたちの発想や願いから始める行事企画

- 学校運営を支える教師の構え：① 大人は、「子どもの学び・育ちを支える」「主人公は子ども」という目的を達成するための伴走者という意識を常に大切にする。
② 学校の大きな節目「150周年」をまたとない子どもの育ちの機会と考え、「願い」と「目指す方向」を年度当初に鮮明にする。